

次期総合計画にかかる子どもたちからの意見聴取について

～「なごっちフレンズ」

(1) 概 要

名古屋市子ども青少年局が実施するなごっちフレンズの交流イベント「なごっちサミット」において、子どもたちから 20 年後の名古屋の将来像に対する意見聴取を行いました。

なごっちフレンズ：

なごや子ども条例に規定する子どもの社会参画を進める目的で設置しました。なごや子ども条例を理解し、子どもの目線で名古屋の施策や課題に意見を言える子どもたちを育てるために、名古屋市が行う子どもが社会参画できる事業の情報を集約し、子どもたちに提供する取り組みを行っています。

(2) 開催日時・場所

平成 25 年 1 月 14 日 (月・祝) 13 : 00 ~ 16 : 00 ウィルあいち大会議室

(3) 参加者

なごっちフレンズ登録者のうち 18 名 (小学 5 年生 ~ 中学 2 年生)

(4) 企画コンセプト

子どもたちがアーバンデザイナーになって、名古屋のまちの将来をデザインしました。

- ・ 20 年後の自分は？ 何を大切にして、どんなことをしている？
- ・ 20 年後の名古屋は？ 何を大切にして、どんなまちになっている？

(5) 実施方法

子どもたちにお願いとミッションの提示

- ・ 「名古屋市の将来の計画を作りたいが、色々な将来がありすぎてとても困っている。大人になって活躍しているだろうみんなに、名古屋がどんなまちになってほしいか、名古屋の将来の姿を描いてほしい」
- ・ 「今日 1 日、アーバンデザイナー (まちをデザインする人) になって、自分も皆も望む 20 年後の名古屋のまちをデザインしてほしい」

いろいろな人にインタビュー

- ・ 一人ひとりが 20 年後の自分の姿を想像し、シートに記入
- ・ ペアをつくって、相手に今の状況と 20 年後どうなっていると思うかをインタビュー
- ・ インタビューを踏まえ、20 年後の自分と名古屋のまちを想像し、付せんに記入

グループでの話し合い

- ・付せんを模造紙に貼りながら、グループのメンバーに自分の考えたことを紹介
- ・付せんを内容ごとにグルーピング
- ・レイアウト、グループとしてのメッセージを考え、まとめの作成

グループでまとめたことを全体に発表

(市長、名古屋市総務局企画課及び子ども青少年局職員が参加)



(6) 子どもたちの意見

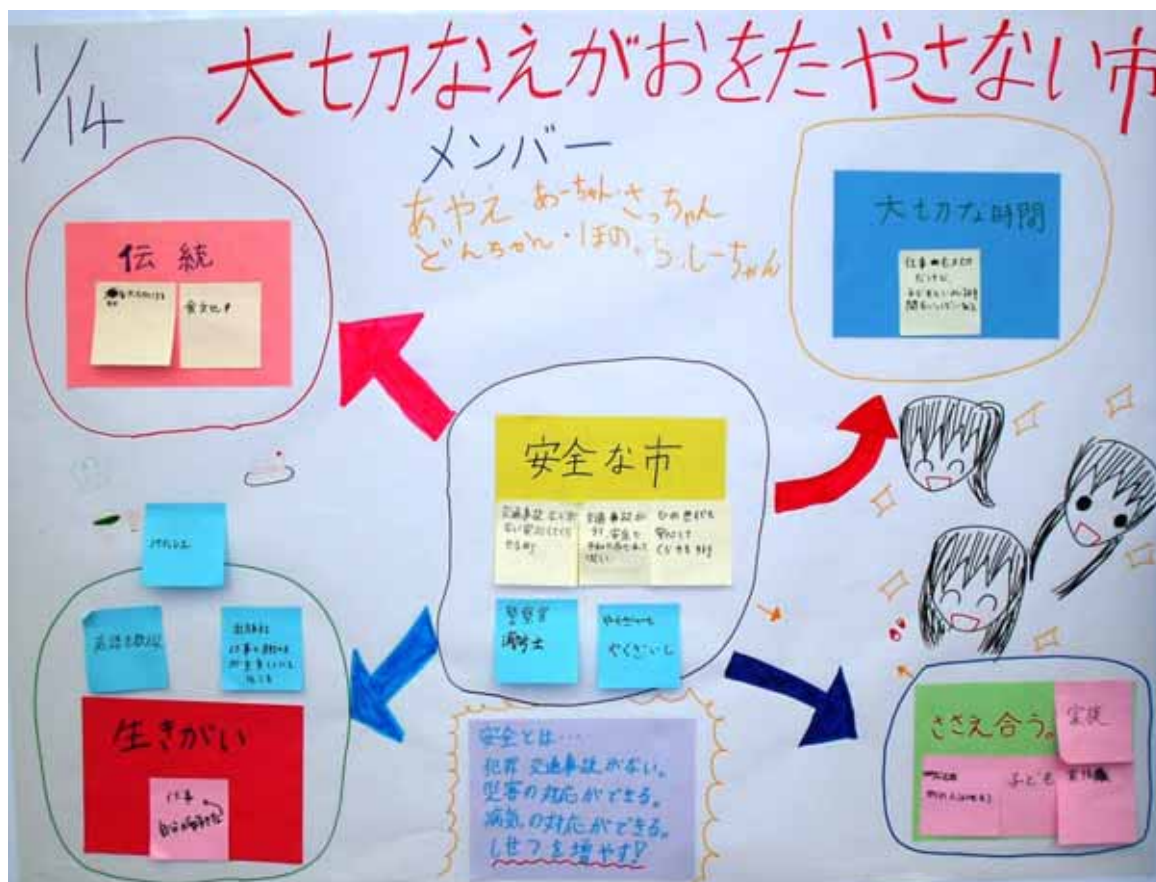
グループ1「どえりゃあ、ぬくもりのある、平和な、活気のあるまち」



子どもたちの発表意見

- ・差別のない、助け合いでつながる、家族を大事にするまち。
- ・つながりやぬくもりを大切に。
- ・平和で安全なまち。
- ・キャラクターの魅力で地域の活性化ができるまち。

グループ2「大切なえがおをたやさない市」



子どもたちの発表意見

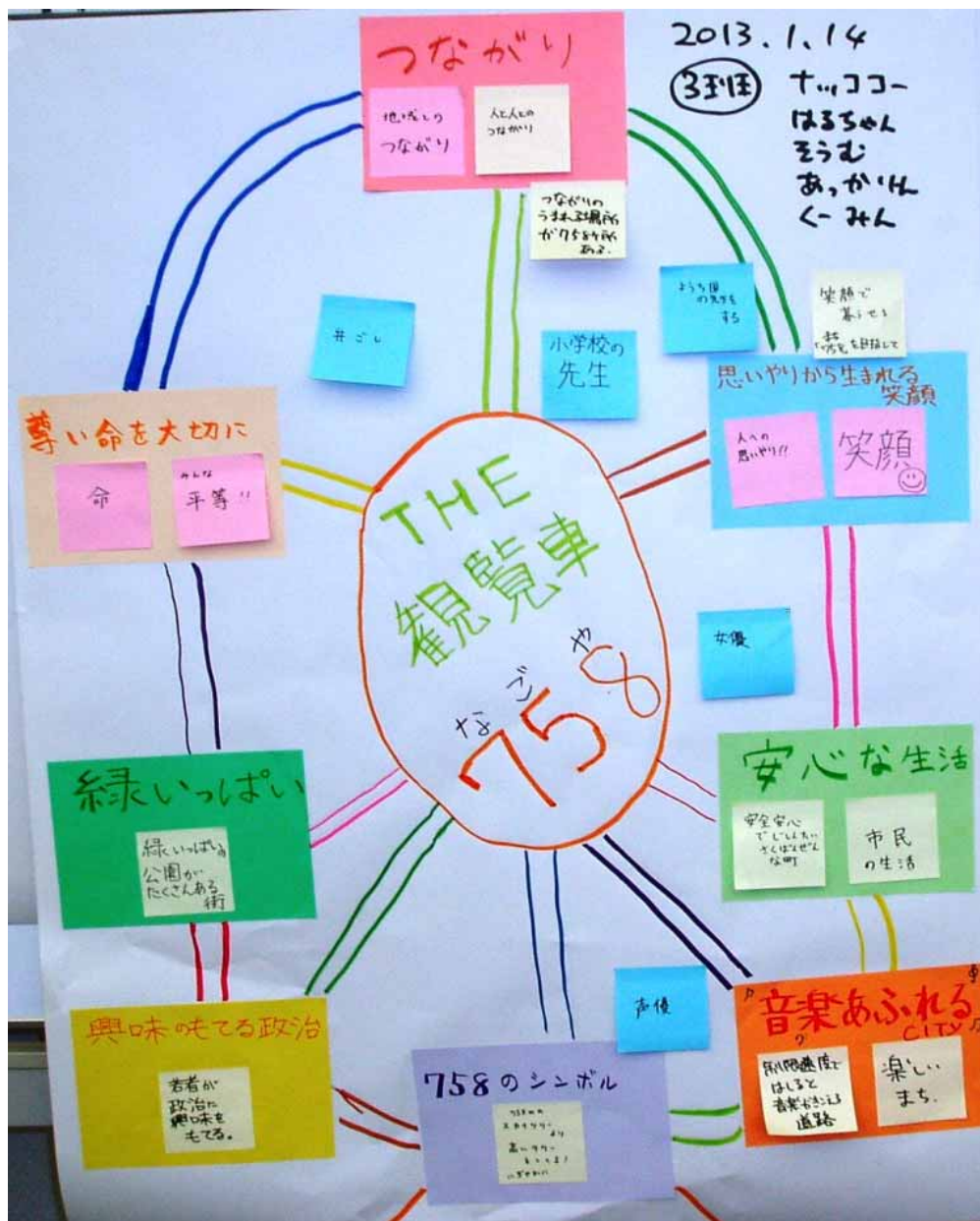
・犯罪や交通事故が無く、災害や病気の対応ができる施設を増やすなどして、どの世代も安心して暮らせるまち。

安全な市であれば、生き甲斐のような好きなことや仕事ができる。

・家族やまちの人と支え合うと良く、子どもと一緒に居られる時間の確保ができると良い。

・新しいものがたくさんある中でも、昔からの食文化などを大切にする。

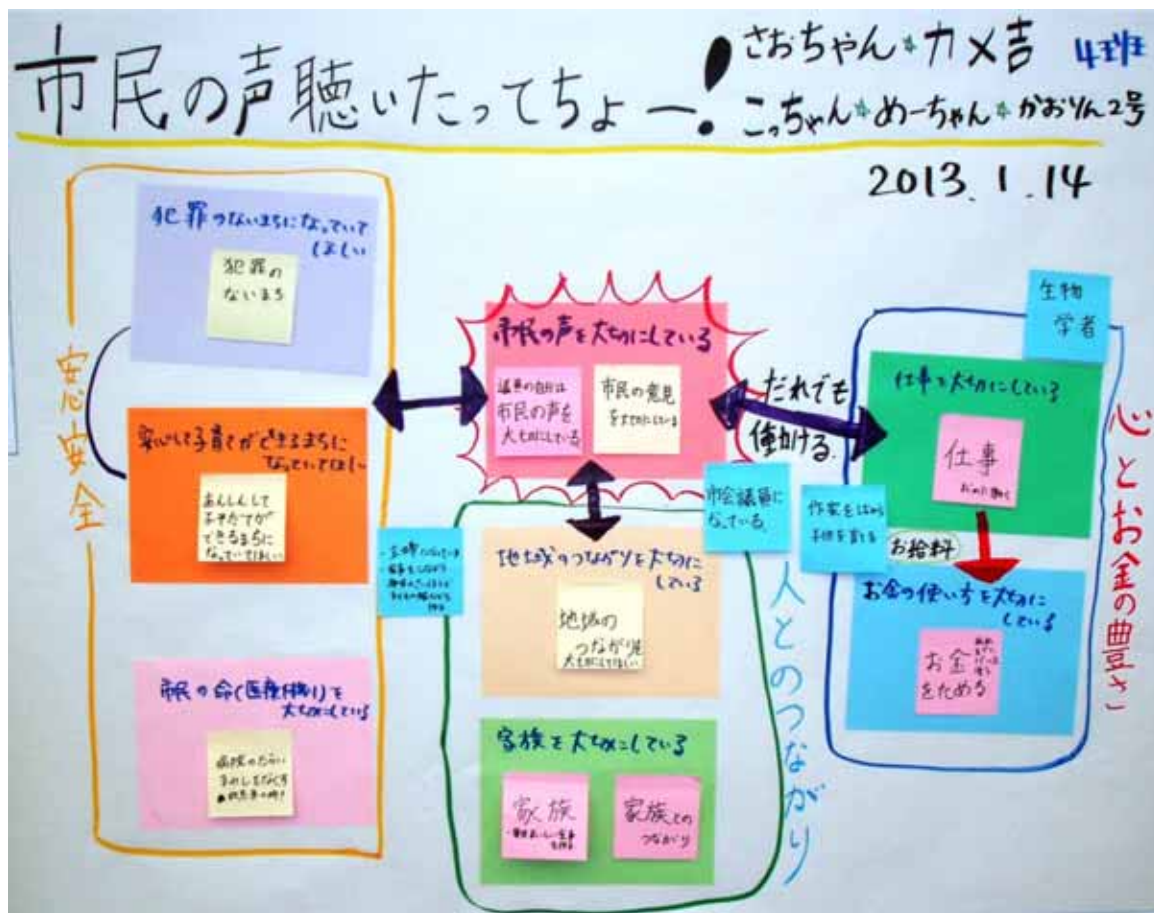
グループ3「THE観覧車758」



子どもたちの発表意見

- ・観覧車は、全てをつなぎ、全てに目を向けることのイメージ。
- ・つながり（挨拶し合える地域）おもいやりから生まれる笑顔、地震対策、これらに配慮したまちが良い。
- ・音楽の溢れる町とは、制限速度で走行すると、路面凹凸によってタイヤノイズが音楽を奏するような工夫の採用。
- ・758mのタワーを建てるといい。緑があって、みんなが安心して遊べる公園ができるといい。

グループ4「市民の声を聴いたってちょー！」



子どもたちの発表意見

- ・年齢や性別を問わず、誰もが働けるまち。
- ・作家をしながら子どもを育てたいので、心とお金の豊かさがあるまちにしたい。
- ・市民の声を大切にできる議員になりたい。犯罪がなく安心安全なまちになってほしい。
- ・市民の声、地域、家族の声を大切にすると、人と人とのつながりが強くなる。

グループ5「誰もが笑顔で安心できる」



子どもたちの発表意見

- ・規模の大きい工業製品を売りたいので、もっと世界とつながるまちになってほしい。
- ・素敵な母親になりたい。色々な年代が世代を超えてつながれるまちづくりがいい。
- ・もっと交通の便が良くなり、北海道から沖縄まで行けると良い。
- ・歴史や自然を守っていくといい。
- ・子育てと両立させることができるまち。
- ・名古屋のシンボルであるテレビ塔と名古屋城を大切にしてほしい。

補足：大切にしたいものとして、複数が仕事と家族を挙げており、両立が課題であることが認識されている。